

# 1 中津・宇佐・<sup>すおうなだ</sup>周防灘地域



周防灘の干潟

## 地域を特徴づける野生生物

- [植物] テツホシダ ( A ), マルバオモダカ ( A ), ウミヒルモ ( B ), オニバス ( B ), ツクシナルコ ( ), ガガブタ ( ) など。  
[動物] ズグロカモメ ( B ), アオギス ( ), ヤリタナゴ ( 準 ), トビハゼ ( 準 ), ナメクジウオ ( A ), ヘイケガニ ( ) など。

## 天然記念物

「宇佐神宮社叢」(国指定), 「三角池の水生・湿地群落」(県指定)



ヤリタナゴ



ガガブタ

本地域は沖積平野で、水田が広がり、穀倉地帯となっている。年平均気温15℃、その周辺地にシイ・カシ類の常緑広葉樹林が茂る。降水量は年間1,600ミリ以下で少なく、多くの灌漑用のため池がつけられている。丘には凝灰角れき岩の岩場がみられ、乾燥環境にある。周防灘は遠浅海岸で、干潮時には沖まで干潟があらわれ、河川の河口は塩湿地となっている所が多い。塩湿地では、ナガミノオニシバ、シオクゲ、ハマツツナ、フクドなどが群生し、コアマモやウミヒルモの生育地も確認されている。河川湿地やため池では、ヨシ、マコモ、ヒメガマ群落、ヒシ・ガガブタ群落やオニバス群落などがみられ、ため池上辺の湿地では、アシカキ群落やツクシナルコ群落、ジャヤナギ林などが繁茂している。海岸沿いにクロマツの防風林がつけられ、丘陵地の多くはスギ植林やアラカシ二次林となっているが、宇佐神宮などでは優れたイチイガシ林が保全されている。岩場や尾根筋ではコナラ林やイブキシモツケ群落もみられる。